

## 小カラスと大カラス

小カラスの群れの中にひとときわ身体の大きい一羽のカラスがいました。彼はその身体の立派さを誇るあまり仲間のカラスを馬鹿にしてさげすんでいました。やがて彼は大カラスのところへ行って暮らすことに決めました。早速、大カラスの中にまぎれ込んだ彼ですが、大カラスたちは彼の姿や心の貧しさ、声の悪さを罵り彼を群れからたたき出しました。追い払われた彼はもとの小カラスの群れに戻ってきましたが、彼にさんざん侮辱された小カラス達は彼が戻ることを断りました。この様に彼はどちらからも追い出されることになりました。



## 太陽とカエル

真夏の暑い日、太陽の結婚式が盛大に行われました。このおめでたい行事に世の中の全ての動物たちは大いに喜びました。勿論カエルたちも大変喜んでいました。しかしその中の一匹が大きな声で叫びました「お前達の馬鹿さにはあきれたものだ、よく考えてみろよ、太陽は一人でいても機嫌が悪いと干ばつになって我々は生死の問題になるんだ、それに結婚して太陽の子供が増えたらどんなひどい事になるか分かっているのか」



## 駱駝との関係

大昔、駱駝をはじめて見た人はその大きさと異様な鳴き声に恐れおののき逃げ出したと言われています。しかし暫くすると人々は駱駝のおとなしい性格と優しい行動に気づき彼を家畜として手なずけてしまいました。そして今では彼の世話を子供にまかせる様になっただけでなくその愚鈍さを軽蔑する様になってしまいました。

